

International Culture Appreciation& Interchange Society, Inc.



一般社団法人

海外と文化を交流する会

(一社)海外と文化を交流する会会報

2014年7月発行 第56号

”知と心”の繋がりに文化の原点を求めて

- 日本を理解し日本で学ぶ留学生への支援
- 各国大使館との協力などによる文化講演会の主催

新しい体制で迎える2014年度



カット／松岡 裕子

新会長よりのご挨拶

一般社団法人としての再出発

社団法人「海外と文化を交流する会」は、外務省認可設立四番目の公益法人として1968年の創立以来、国際舞台で各方面において、多くの海外の文化と交流し、互いの理解を深めてきました。そして、2014年4月より内閣府の下で、一般社団法人（非営利型）に移行され新しい1ページを開くことになりました。

近年においては、故大谷俊介前会長の献身的尽力と豊かな洞察力、及び指導の下に、その移行の手続きなどが無事に終わりました。先生の在任中、オセアニア、特にオーストラリアとの絆を深めることができ、2013年からはオーストラリアの若手美術家の活動を奨励するために松岡朝賞を設立することが出来ました。

残された会員は、2014年1月、大谷先生の早すぎた逝去に接して、創立者松岡朝女史の志を継承しつつ、新しい時代に向かって前進する決意を再確認する時となりました。会の活動を縮小してでも理事会の若返りをはかり、若い理事達に期待を持って新しい体制をスタートさせました。オセアニアを初め、すべての国の人々のニーズに応じて、それぞれの文化の違いを理解しつつ、その価値を互いに認め合い、平和な世界を築き合う役割を担っていくことを願っています。

2014年7月

会長 ジョージ・W・ギッシュ

役員人事のお知らせ

一般社団法人となり、4月から新しい体制となりました。

会長	ジョージ・W・ギッシュ
専務理事	松岡裕子
常務理事	松田洋子 松岡恒太郎
理事	浅野祐一郎、大谷淑子、羽鳥修造、霧生敦史、山田悦弘
監事	角谷多美子
経理	川辺治雄

長いこと大変お世話になりました。謹んでお礼申し上げます。

退任理事	鮫島宗明、中野真逸郎
退任監事	服部弘
退任経理	角谷貞夫

報告とお知らせ

平成25年(2013)度 事業報告

1) 国際交流事業

① オーストラリアへ理事を派遣する件

当会が寄贈した日本画巨匠による25点の絵画が保管されているメルボルン National Gallery に於ける展示・管理状況を確認のため、現地責任者との顔合わせが必要と考えているが、25年度は派遣を見合わせた。

② 松岡朝賞贈与の件

当会の創始者の名前を冠した賞を、3名のオーストラリア若手美術家（ハイディ・アクセレーゼン、ヒューゴ・モリーン、ネーサン・ホークス）に各25万円ずつ授与した。平成25年8月7日行われた授与式に、当会より鮫島宗明・松岡裕子両理事が出席した。

2) つどい

国際交流に関する識見の向上と会員相互の親睦を兼ねて講演会を開催。

「世界に発信する和食の魅力」 平成25年6月1日 於：銀座教会地下集会室
日本の和食を世界遺産に推薦したい希望もあり、講師として農水省外食産業室長・山口靖氏を招き開催した。

3) 会報発行

会員との交流・情報交換を計るため、年度内3回発行。

長年、会報編集の担当者として活躍した 中野真逸郎理事が25年度をもって退任することとなった。

4) 講演会・音楽会

「テノール大澤一彰がうたう 日本の歌・世界の歌」

平成25年4月26日 霊南坂教会に於いてオーストラリア若手美術家支援 Charity Concert を主催。注目のテノール歌手・弦楽四重奏・パイプオルガンの共演で好評を博した。

5) 一般社団法人の認定申請の件

内閣府より認可され、平成26年4月1日より一般社団法人に移行した。

6) 東京ハルモニア室内オーケストラ支援

演奏のみならず、文化活動においても高い評価を受けていて、当会のコンサートにも多大な応援を惜しまない団体である。

平成 26 年 (2014) 度 事業計画案

1) 国際交流事業

① メルボルンに理事を派遣する件

昨年来検討している件であるが、Arts Victoria も National Gallery も人事交代があり、当会も会長交代・名称の変更などがあることから、今年度は、相互の挨拶状交換にとどめ、メルボルン訪問は来年実施の予定。

② 松岡朝賞授与の件

昨年度に引き続き授与するが、授与金額・人数に関しては検討の余地あり。在日オーストラリア大使館との関わりも在るため、ギッシュ会長・鮫島氏に話し合いを一任することとなった。なお、今年度の使用上限額は 30 万円とする。

2) つどい

新組織がスタートしたばかりであるので、現在は未定。今後は若い理事の発案を尊重して考えてゆきたい。「朝賞授与者の中から来てもらい、話しを聞く」という提案があった。

3) 会報発行

会員との交流、情報交換を計るため、最低年 2 回の発行を考えている。会報担当者の決定は先送りとなったが、第 56 号(7 月中)はギッシュ会長が HP を書き換え事務局でプリントしたものを使用する。以後、掲載内容・原稿を羽鳥氏に送り PC 入力、その後の作業は事務局が行い、発送する手順案を羽鳥氏より提示があり、次回の話し合いを待つこととなった。

4) 講演会・音楽会

平成 26 年 10 月 10 日(金) 霊南坂教会に於いて Charity Concert を開催予定。

出演：テノール 大澤一彰・弦楽四重奏・オルガン・ハープ

支援対象：オーストラリア若手美術家・福島の子ども達。

5) 東京ハルモニア室内オーケストラ支援

演奏のみならず、文化活動でも高く評価されている団体。当会の音楽会では、多大な応援を仰いでいる。

6) 会員増強について

HP に英文のページも作る。

収支報告書

正味財産増減計算書内訳表(年度:4月1日～翌年3月31日)

科目	2013年度決算額	2014年度予算額
I 事業活動収入の部		
1. 事業活動収入		
①基本財産運用収入	0	300
基本財産運用収入	0	300
②特定資産運用収入	218	218
オセアニア美術家招聘基金	218	218
③会費収入	360,000	450,000
正会員会費収入	330,000	400,000
賛助会員会費収入	30,000	50,000
④事業収入	1,991,708	1,045,000
つどい事業収入	0	20,000
国際交流事業収入	0	0
留学生支援事業収入	0	0
オセアニア美術家招聘事業収入	1,010,508	300,000
会報発行事業収入	0	0
講演会・音楽会事業収入	981,200	700,000
東京ハルモニア支援事業収入	0	25,000
その他事業収入	0	0
⑤補助金収入	0	0
補助金収入	0	0
⑥雑収入	232,232	51,200
寄付金収入	10,000	50,000
募金収入	0	0
雑収入	222,021	1,000
受取利息収入	211	200
事業活動収入 計	2,584,158	1,546,718

貸借対照表

2014年3月31日現在

科目	当年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金及び預金	1,231,138
流動資産合計	1,231,138
2. 固定資産	
特定資産	
オセアニア美術家招聘基金	1,001,200
固定資産合計	1,001,200
資産合計	2,232,338
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	0
前受金	0
流動負債合計	0
負債合計	0
III 正味財産の部	
1. 一般正味財産	2,232,338
(うち特定資産への充当額)	1,001,200
正味財産合計	2,232,338
負債及び正味財産合計	2,232,338

科目	決算額	予算額
II 事業活動支出の部		
1. 事業支出		
①事業費支出	1,434,182	1,145,000
つどい事業支出	26,462	20,000
国際交流事業支出	0	300,000
留学生支援事業支出	0	0
オセアニア美術家招聘事業支出	1,001,206	300,000
会報発行事業支出	86,060	50,000
講演会・音楽会事業支出	320,454	400,000
東京ハルモニア支援事業支出	0	25,000
その他事業支出	0	50,000
②管理費支出	937,753	719,000
法人税支出	70,000	70,000
役員報酬支出	0	0
諸謝金支出	401,944	300,000
会議費支出	95,160	50,000
交通費支出	36,330	40,000
通信費支出	106,502	80,000
事務所費支出	137,990	129,000
家賃支出	0	0
光熱費支出	40,000	20,000
図書印刷費支出	0	5,000
消耗品支出	20,390	30,000
HP費支出	77,600	74,000
雑支出	89,827	50,000
寄付金支出	0	0
雑支出	89,827	50,000
事業活動支出 計	2,371,935	1,864,000
III 投資活動支出の部	0	0
IV 財務活動支出の部	0	0
V 予備費支出の部	0	50,000
当期支出合計	2,371,935	1,914,000
当期収支差額	212,223	▲367,282
前期繰越収支差額	1,018,915	1,231,138
次期繰越収支差額	1,231,138	863,856

テノール
“大澤一彰がうたう世界の名曲”
チャリティーコンサートのご案内

昨年4月26日にテノール大澤一彰さんと弦楽四重奏によるチャリティーコンサートを主催したところ、大変な好評を博しました。「感激した、是非もう一度聴きたい」、「身体が震えてしまった」という感想を多数いただきましたので、**10月10日(金)**に第2弾を実現する運びとなりました。今回はプログラムに、華麗なハープ協奏曲(ヘンデル作曲)も加えて**出演者7名**という**超豪華版**でもあります。

ぜひお誘い合わせの上、お楽しみいただきたくご案内申し上げます。

なお、ご予約については同封の払込票にお名前、ご住所を明記くだされば、チケットをお届けいたします。

会費納入のお願い

2014年度の年会費納入をお願いいたします。子ども達に、より良い日本を残すための当会の活動内容は現在まで高く評価されて参りました。これも皆さまのご理解があればこそでございます。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

日本にあるものはオーストラリアには無く、オーストラリアにあるものは日本には無いと言われており、友好を深め、相互協力を推進することが重要な意味を持つ関係にあります。日豪両国の芸術専攻生の教育交流の発展や、オーストラリアやニュージーランドに寄贈した日本画の里帰り展の実現を通して、相互協力関係の深化を図りたいと思いますので、是非ご支援ください。

郵便振替 00130-2-366249 一般社団法人海外と文化を交流する会
銀行振込 三菱東京UFJ銀行渋谷支店(普)0026193 海外と文化を交流する会

会費 10,000円(正会員) 5,000円(特別賛助会員) 3,000円(学生会員)

海外と文化を交流する会事務局
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-27-6 パインヒル内
TEL&FAX 03-3370-7654 e-mail: jimukyoku@kaigai-bunka.org
<http://www.kaigai-bunka.org>